

授業科目	*栄養教育論実習 I				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	永原 真奈見										
授業概要	<p>管理栄養士は、全てのライフステージ、ライフスタイル、健康状態の人々を対象に、自ら健康管理ができるよう栄養教育を行う必要がある。</p> <p>本実習では、栄養教育論 1 及び 2 で学んだ知識・理論を基に、個人及び集団におけるカウンセリングや栄養教育を実際に体験し、計画・実施・評価・改善を通して栄養教育マネジメントを学修する。</p>										
授業形態	実習	授業方法	ICT (Class room) の活用, アクティブラーニング (グループワーク, プレゼンテーション) を含む								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者又は対象集団にあった栄養評価項目を選択し、栄養診断ができる。(DP2-1, DP3-1) 2. 診断に基づき、栄養教育計画を作成し、栄養教育を実施することができる。(DP4-1, DP4-2) 3. 栄養教育効果を高めるためのプレゼンテーション技術を修得する。(DP5-1) 4. 対象者の発達段階や場に応じたコミュニケーションスキルを修得する。(DP1-1, DP1-2, DP2-1) 5. 実施した栄養教育を適切に評価し、改善につなげることができる。(DP2-1, DP3-1) 										
理想的レベル	標準的レベル 1～5 の全てを達成したうえで、本実習以外の対象についても応用することができる。(DP4-2, DP5-1)										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合 (数値)				備考						
試験											
小テスト											
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)	50%										
レポート外の提出物	50%										
その他											
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT22103J
学習課題 (予習・復習)										1 回の学習目安 (時間)	
予習：各回のテーマについて予習し、まとめる。										0	
復習：実習で学修した事項について整理し、まとめる。											
授業計画											
第 1 回	<p>テーマ：実習ガイダンス、栄養教育方法・グループ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本授業の進め方について説明する。 ・グループ学習における 6-6 式討議や KJ 法について学ぶ。 										
第 2 回	<p>テーマ：リーフレット作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット作成の対象となるライフステージについて、その特徴をとらえ、題材について深く探求する。 										

第3回	テーマ：個人栄養教育計画（個人指導(1)） ・特定保健指導の実際について学び、対象者のアセスメントを通して、課題を抽出する。
第4回	テーマ：個人栄養教育計画（個人指導(2)） ・対象者の課題に基づき、栄養教育計画及びシナリオを作成する。
第5回	テーマ：個人栄養教育計画（個人指導(3)） ・指導教材を作成し、特定保健指導のロールプレイを行う。
第6回	テーマ：個人栄養教育実施・モニタリング（個人指導(4)） ・クラス内発表を実施し、相互評価を行う。評価で得られた事項を取り入れて改善案を作成する。
第7回	テーマ：個人栄養教育実施・モニタリング（個人指導(5)） ・クラス内発表を実施し、相互評価を行う。評価で得られた事項を取り入れて改善案を作成する。
第8回	テーマ：対象別集団栄養教育(1)（計画） ・指導略案について学び、集団における栄養教育計画を作成する。
第9回	テーマ：対象別集団栄養教育(2)（計画） ・対象とするライフステージ及び課題を設定し、指導略案を作成する。
第10回	テーマ：対象別集団栄養教育(3)（計画） ・栄養教育計画に基づき、シナリオを作成する。
第11回	テーマ：対象別集団栄養教育(4)（計画） ・栄養教育計画に基づき、教育教材を作成する。
第12回	テーマ：対象別集団栄養教育(5)（計画・実施） ・グループ内発表及び評価を行い、改善点を見つける。
第13回	テーマ：対象別集団栄養教育(6)（実施・評価） ・ライフステージ別栄養教育を実施する。
第14回	テーマ：対象別集団栄養教育(7)（実施・評価） ・ライフステージ別栄養教育を実施する。
第15回	テーマ：対象別集団栄養教育(8)（改善）及び まとめ ・実施した栄養教育の自己評価及び他者評価を元に、教育計画を改善する。 ・個人及び集団における栄養教育の重点項目を解説する。
テキスト	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（監修）：「栄養教育論(改訂第5版)（健康・栄養科学シリーズ）」（南江堂）
参考図書・教材 ／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：日本栄養改善学会 監修・武見ゆかり・赤松利恵 編「栄養教育論 理論と実践」（医歯薬出版株式会社），大山珠美・須永美幸 編著「栄養教育論実習」（光生館） データベース：厚生労働省ホームページ、文部科学省ホームページ、農林水産省ホームページ、日本栄養士会ホームページ
課題に対するフィードバックの方法	ワークシート等の提出物は、コメントを添えて返却します。

学生への
メッセー
ジ・コメ
ント

これまでに履修した専門基礎科目及び専門科目（特に栄養教育論 I 及び II は必須）をしっかりと復習し、理解した上で授業に臨む姿勢が必要です。

栄養教育は、科学的根拠に基づいたデータや媒体を理解して計画に取り入れ、実施します。図書館（雑誌を含む）やインターネット等で関連情報を入手し、判断する力を養いましょう。また、日常から自分自身の栄養や健康について考え、行動することができるようにしましょう。